

**県民参加型ワークショップ**  
**(第 42 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム)の開催(案)**

## ○開催概要

<b>名 称</b>	<b>第 42 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム</b> ～ かながわの水源を語ろう ～ (仮)
<b>日 時</b>	平成 30 年 12 月 1 日 (土) 10 時 30 分～16 時 30 分 ・ 第 1 部 10 時 30 分～12 時 30 分 ・ 第 2 部 13 時 30 分～16 時 30 分
<b>会 場</b>	厚木市立あつぎ市民交流プラザ (アミューあつぎ) 厚木市中町 2 丁目 12-15 (小田急線本厚木駅下車 徒歩 5 分)
<b>参 加 者</b> (第 1 部約 150 名) (第 2 部約 100 名)	第 1 部：水源施策に関する知識の多少に関わらず、幅広く参加者を募る。 第 2 部：水源環境保全・再生施策に詳しい方ならびに団体を対象とする。 ・ 公募の一般参加者 厚木市内の学生 (小・中・高校生) 大学生、専門学校生 市民事業支援補助金交付団体等の市民団体 関係企業、有識者等 ・ 県民会議委員 O B (第 1 期～第 4 期) ・ 森林組合等の事業関係者、市町村の事業担当者 等
<b>主 催</b>	水源環境保全・再生かながわ県民会議

## ○目的・ねらい

## 第 1 部

<b>目 的</b>	たくさんの方に水源施策を知ってもらう	
<b>ね ら い</b>	これまでの施策の進捗状況ならびに成果等について、子供から大人まで施策を知らない方から施策や現場に精通した方まで幅広く情報発信を行う	
<b>内 容</b>	(しずくちゃんで会場案内等 10 時 00 分～10 時 30 分)	(参考)
	【第 1 部 メイン会場】10 時 30 分～12 時 30 分	
	(1) 開会挨拶	5 分
	(2) 第 40 回「全日本中学生水の作文コンクール」神奈川県表彰受賞者による作文発表 (2 名程度)	20 分
	(3) 県の取組紹介など(森、水) ＜対象：平成 19～29 年度の 11 年間の実績・成果＞	25 分
	(4) 有識者による評価発表 (3 名程度)	60 分
	(5) 第 2 部の説明、閉会挨拶	10 分
	【第 1 部 小学生を対象とした会場】11 時 00 分～12 時 30 分 ( (1) 及び (2) についてはメイン会場において同一プログラム)	
	(3) 紙芝居	15 分
	(4) 県の取組紹介など	30 分
	(5) クイズ	20 分
	(6) 質問コーナー	10 分
	(7) 一言コーナー	10 分

## 第2部

目 的	第3期における総合的な評価（中間評価）ならびに次期計画への意見書の作成に向け、水源環境保全・再生施策に関する県民意見の収集を図る。	
ね ら い	① 県民会議と参加者とで直接議論することにより、現行施策への意見や今後期待する取組等について、参加者からより多くの意見を引き出す。 ② ①で出た具体的な意見のうち、施策に直結するものなどについては、第3期に作成する総合的な評価（中間評価）報告書や次期計画への意見書に取り入れる。（県民会議委員以外の県民意見等も幅広く反映させる。）	
内 容	<b>【第2部】 13時30分～16時30分</b> (1) 趣旨説明（全体会場） (2) 討議（分科会（4グループ程度）、移動・休憩を含む） (3) グループごとに発表内容の集約（主催者側） 展示されているパネルの見学等（各参加者） (4) 各グループの成果発表 (5) 全体での意見交換、質疑応答等 (6) 講評	<b>（参考）</b> 10分 90分 10分 30分 30分 10分
	ワークショップで使用した資料等をインターネット上に掲載し、当日、参加できなかった方からも、ファクシミリ、電子メール、郵送などによって、御意見をいただくこととする。	

### ○パネル展示

内 容	ワークショップの全体会、分科会で使用するアミューあつぎの各部屋に、水源環境保全・再生施策に関連するパネルを展示して、ワークショップ参加者に施策の理解を促す。現在想定している展示パネルは、次のとおり <ul style="list-style-type: none"> <li>・県が作成し、もり・みずカフェ等において使用しているパネル</li> <li>・水源環境保全・再生市民事業支援補助金の交付を受けている団体が作成する活動内容に関するパネル</li> </ul>
-----	---

### ○使用する資料

第25回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（平成27年7月実施）の資料のⅡ～Ⅳを平成28年度実績に修正し、当日配布する。
---

### ○当日の係分担（現段階における案）

<第1部> 受付：公募委員、事務局 司会：公募委員 有識者発表：施策調査専門委員会委員	<第2部（分科会）> 受付：公募委員、事務局 趣旨説明：副座長又は委員長 講評：座長 各グループのリーダー：施策調査専門委員会委員 進行：公募委員 書記：公募委員、事務局 誘導：公募委員、事務局
--	--

# かながわ水源環境保全・再生 これまでの取組み



水源環境保全・再生  
イメージキャラクター  
しずくちゃん

## 第25回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム資料

### 目次

〈はじめに〉	1
<b>I かながわの水源環境の今</b>	
1 かながわの水がめは? ~4つのダム湖~	2
2 かながわの水がめの水質	3
3 かながわの水源地域の水質(生物指標)	5
4 相模川・酒匂川	6
5 水源河川上流域の魚類	7
6 アユの生息環境から見た相模川・酒匂川	8
7 水源地域の山地と森林	9
8 水源地域の森林の歴史	11
9 水源地域の森林づくり	13
II~IVページ 平成28年度実績へ修正	
<b>II 水源環境保全税の導入と施策展開</b>	
1 水利用の観点から見た神奈川県の特徴	15
2 水資源開発の歴史	15
3 施策導入時点の課題	15
4 水源環境保全税の導入	15
5 神奈川県の水源地環境の課題と施策展開について(第2期5か年計画)	17
<b>III これまでの取組状況</b>	
1 水源環境保全税を財源とした特別対策事業(12事業)の実績・効果について	19
2 水源環境保全・再生施策事業実施箇所図	25
3 水源環境保全税を財源とした特別対策事業(12事業)の事業費について	27
4 水源環境保全・再生施策大綱事業の実績	28
<b>IV これまでの取組みの検証</b>	
1 森林の土壌流出と水や生きものへの影響	29
2 森林管理と水源かん養機能のかかわり	31
3 川は自然の浄水場~微生物の力~	33
4 森林モニタリング	35
5 河川モニタリング	41
6 水源環境保全・再生施策実施による経済的価値の評価	43
7 各事業の評価の流れ図(構造図)	45
8 評価結果の概要(案)	46